

《裸婦(A)》(部分) 1962年

宮本三郎の 描く身体

2017.4.1 SAT

→ 7.23 SUN

THE BODY
in Saburo
Miyamoto's Art

開館時間 ▶ 10:00 ~ 18:00 (最終入館は17:30まで)

休館日 ▶ 毎週月曜日 ただし、7月17日(月・祝)は開館、7月18日(火)

は休館 観覧料 ▶ 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、

65歳以上 / 中小生100円(80円) ■ 障害者の方は100円(80円)、

ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください ■ ()内は20名

以上の団体料金 ■ 小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

世田谷区制85周年

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

Saburo
- 82

THE BODY in Saburo Miyamoto's Art

宮本三郎の描く身体

人間の身体をいかに表すか—美術の表現において、もっとも普遍的かつ根本的といえるこのテーマは、ことに西洋の美術が歩んだ歴史をひもとくとき、それぞれの時代を特色づける要となります。

生涯を通じて人物を主題の中心に据えた洋画家・宮本三郎(1905-1974)は、二度の滞欧期を経て、西洋の古典および同時代の美術を熱心に学びました。その実践として、生来の素描力を土台としつつ、さまざまな表現手法を駆使し、多様な画風を展開していきます。一貫して描き続けた女性像もまた、艶かしさを湛えたふくよかな姿態にはじまり、研鑽を重ねてきた写実表現を離れて抽象的な表現による創造を試みたものの、鍛え上げられた肉体にその職業的個性を表出させたかのようなバレリーナの像など、次々とめまぐるしいまでに、その表情を変えていきます。

本展は、宮本三郎が描いた「身体」に注目し、初期から晩年までの油彩・素描作品を通して、その豊かで生気に満ちた表現の変遷を辿るものです。モデルを前にデッサンを重ね、幾多の試行を重ねた宮本三郎の、真摯に対象と向き合うことで生み出された魅力あふれる作品の数々をお楽しみください。



《青い敷物》1935年



《裸婦》1954年



《黒鳥》1963年



《生》1974年



《家族像》1956年

講座室活動

当館では、年間を通して、講演会やワークショップ、コンサートなどを開催しています。開催が決まりましたら順次ホームページなどでお知らせして参ります。

イベント情報

世田谷美術館分館 ギャラリートーク

区内3ヶ所の分館で担当学芸員による作品解説を行います。ぜひご参加ください。

5月13日(土) 11:00~ 向井潤吉アトリエ館

5月20日(土) 11:00~ 宮本三郎記念美術館

5月27日(土) 11:00~ 清川泰次記念ギャラリー

※いずれも20分程度、参加費無料(観覧料別途)、事前申込不要

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

【交通案内】

◎電車…東急大井町線・東横線「自由が丘」駅より徒歩7分/東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分/東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分 ◎バス…東急バス(園02)世田谷区民会館～田園調布駅「奥沢六丁目」下車徒歩1分/東急バス(渋11)渋谷駅～田園調布駅「奥沢六丁目」下車徒歩1分/東急バス(園01)千歳船橋～田園調布駅「浄水場前」下車徒歩10分

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
<http://www.mukaijunki-annex.jp/>

向井潤吉 1910's-1950's 民家への道
4月1日(土)～7月23日(日)



© 宮本和義

世田谷美術館分館

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

清川泰次が写したパリ
4月1日(土)～7月23日(日)



© 宮本和義



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL.03-3415-6011(代表)
[展覧会のご案内] TEL.03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.setagayaartmuseum.or.jp/> ※詳細はホームページなどでご確認ください。

企画展

ミュージアムコレクションⅢ
ミュージアムコレクションⅠ

花森安治の仕事—デザインする手、編集長の眼
エリック・カール展 The Art of Eric Carle
ぜんぶ1986年—世田谷美術館の開館とともに
それぞれのふたり 淀井彩子と淀井敏夫

2017年2月11日(土・祝)～4月9日(日)
2017年4月22日(土)～7月2日(日)
2016年11月5日(土)～2017年4月9日(日)
2017年4月18日(火)～7月2日(日)

休館のお知らせ

世田谷美術館(世田谷区砧公園1-2)は、改修工事のため
2017年7月3日(月)～2018年1月12日(金)の間、休館いたします。